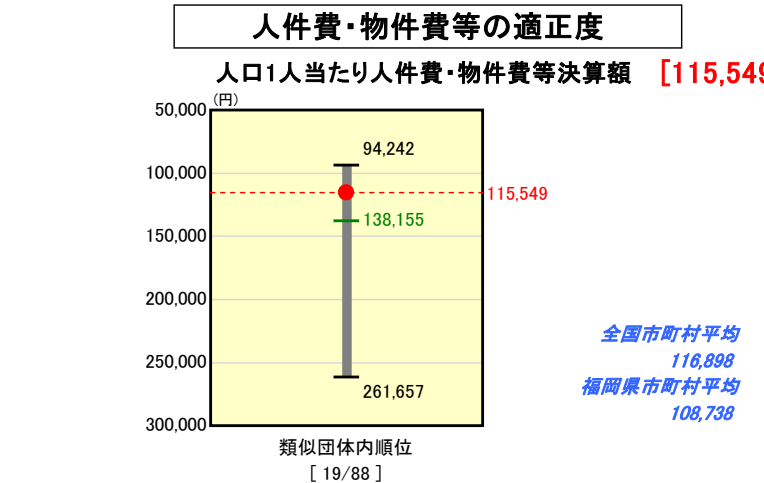
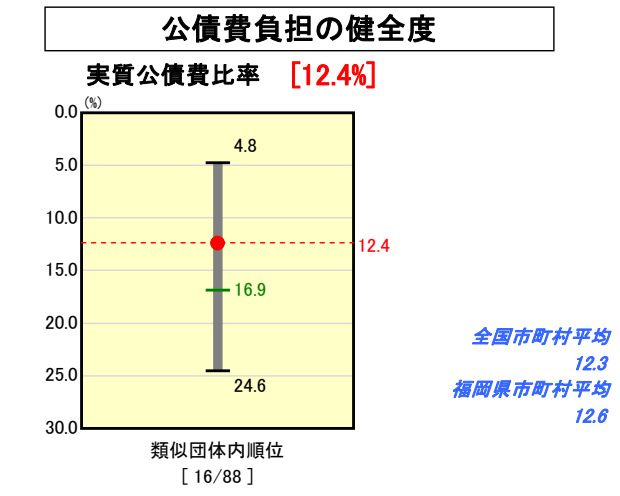
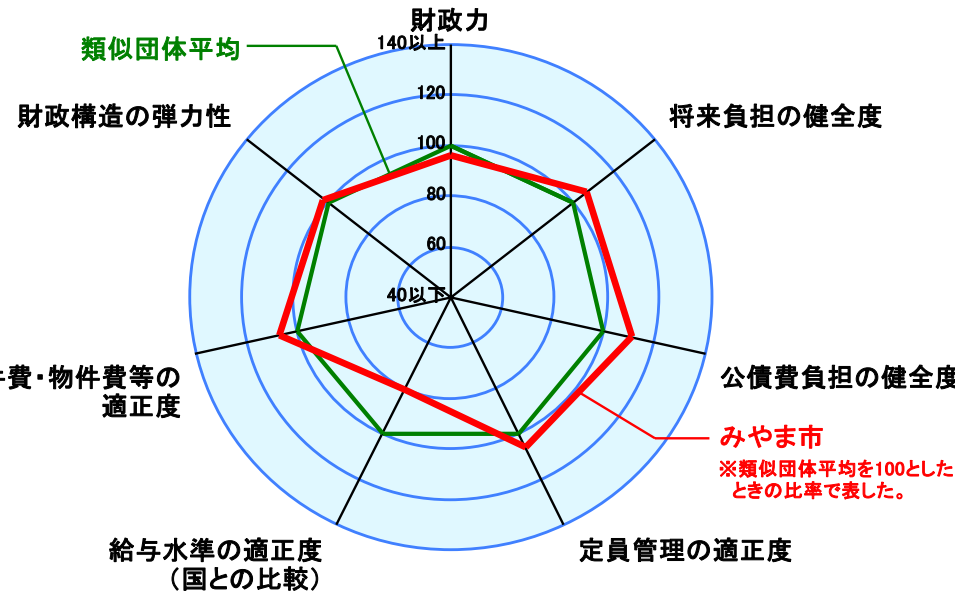
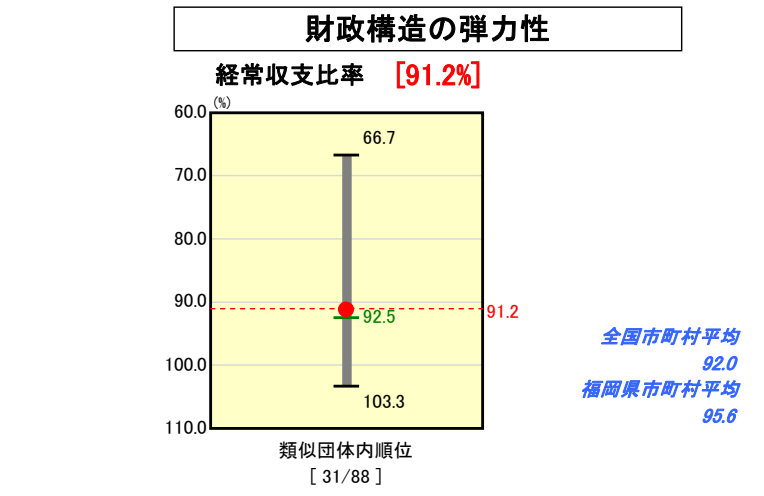
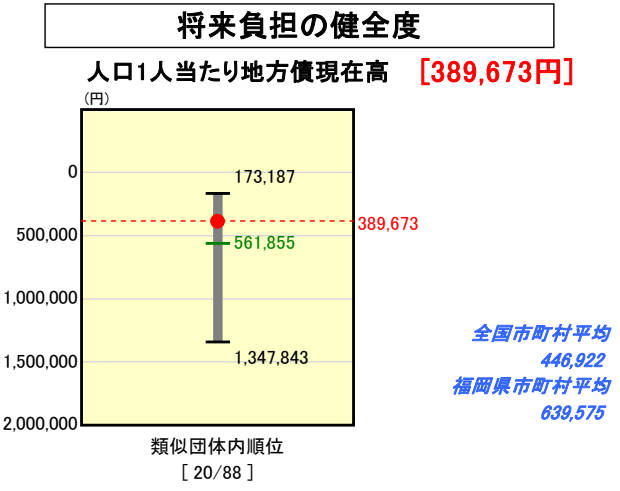
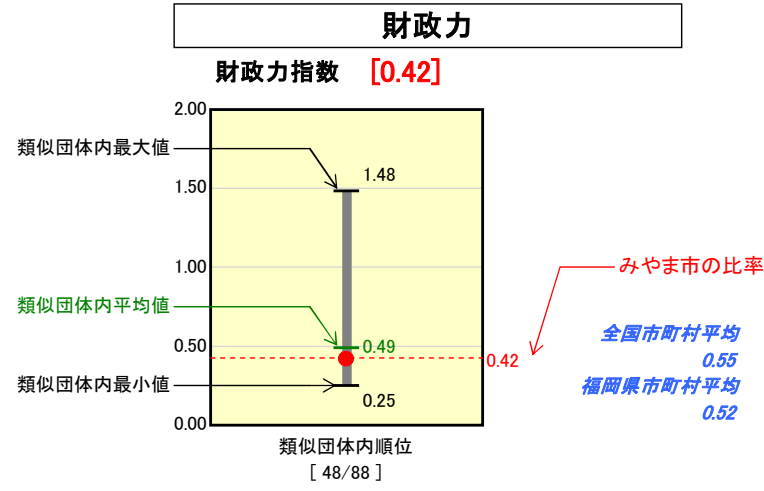


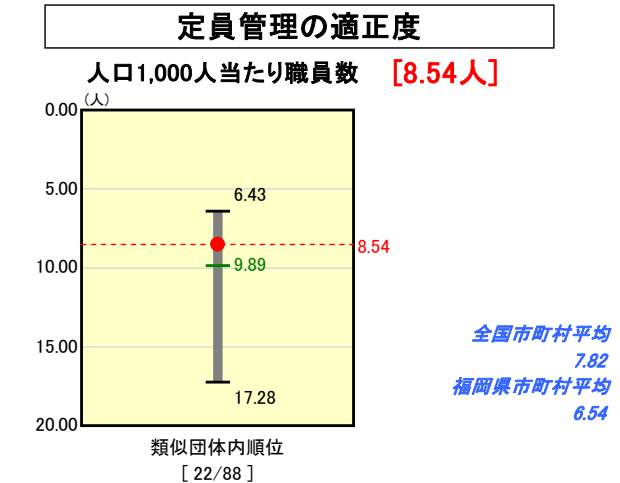
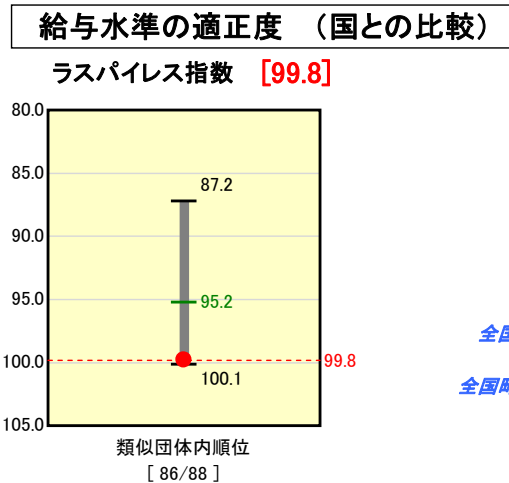
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福岡県 みやま市

人口	42,971 人(H20.3.31現在)
面積	105.12 km ²
歳入総額	15,289,919 千円
歳出総額	14,969,839 千円
実質収支	320,080 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
 ※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
 ※ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

○財政力指数
 人口の減少や高い高齢化率(H20.10現在 28.8%)に加え、市内に中心となる産業が少ないこと等により、財政基盤が脆弱で、0.42と類似団体平均より下回っている。今後、交通インフラの整備を活かした企業誘致等に取り組む、財政基盤の強化に努める。

○経常収支比率
 人件費及び物件費の減少と地方税及び地方交付税の経常一般財源の増加により91.2%と類似団体平均をやや下回っている。合併によるスケールメリットを活かし、物件費・補助費等の削減(合併10年間で△10%)、職員数削減(合併10年間で△13%)により財政の弾力性の向上を図る。

○人口1人当たり人件費・物件費等決算額
 合併による経費削減効果など物件費が前年度より減少(△18.2%)し、類似団体平均を下回っている。今後も職員数の削減など行財政改革を進めて、更なる縮減を図る。

○人口1人当たり地方債現在高
 近年、大規模事業を抑制したこと等により、類似団体平均より下回っている。今後も事業の費用対効果を考慮し、新規発行の抑制に努める。

○実質公債費比率
 過去からの起債抑制策により、類似団体平均より下回っている。今後も事業の費用対効果を考慮し、新規発行の抑制に努める。

○ラスパイレス指数
 職員の給与については、国公準拠を基本としている。

○人口1,000人当たり職員数
 適正な定員管理に努めてきたこと等により類似団体平均を下回っている。引き続き合併によるスケールメリットを活かし、更なる人員削減(合併10年間で△13%)を図る。